

明日の淡海

VOL.
30
2020.03

- 自然と人との共生をめざして -

公益財団法人 淡海環境保全財団

表紙写真：第一なぎさ公園の寒咲花菜

2019年度 滋賀県地球温暖化防止 「COOL CHOICE(クールチョイス)」ポスター 入賞作品決定!

滋賀県温暖化防止センター
キャラクター
「あっちゃん」



表彰式&気象予報士 片平 敦さんトークショー
～みんなで考えよう地球の未来～を開催しました

県内の小中高生から広く募集し、787もの応募作品の中から、2019年度滋賀県地球温暖化防止「COOL CHOICE(クールチョイス)」ポスターの入賞12作品が決定しました。その入賞作品を使って「2020しがCOOL CHOICEカレンダー」を作成しました。



2020しがCOOL CHOICEカレンダー
希望される方は
財団へご連絡ください。



滋賀県知事賞
たぐち まほ
田口 真帆さん
草津市立老上中学校3年
絵のこちら側に作者
自身がおり、啓発から
活動への主旨が表現
されています。

2019年12月7日(土)、コラボしが21の大会議室にて、昨夏に募集した地球温暖化防止「クールチョイス」のポスター入賞作品表彰式を開催しました。

続いて、テレビでおなじみの気象予報士・片平 敦さんにご登壇いただき、最新の知見をベースに、2019年に異常気象により発生した災害と地球温暖化の関わりなどを、わかりやすくお話いただきました。

その後、当センターのキャリアアドバイザーとの対話形式で、クールチョイスのクイズや、片平さんへの質問タイムなどが楽しく進行し、2人の「クールチョイス宣言」で閉幕となりました。



気象予報士 片平 敦さん

Index

1-2 表紙特集

2019年度 滋賀県地球温暖化防止「COOL CHOICE」ポスター 入賞作品決定!
表彰式&気象予報士 片平 敦さんトークショー を開催しました

3 その人に聞く 滋賀県少年野球交流協会 会長 山本 和良さん

- 4 日本ヨシ紀行～ヨシの風景を訪ねて～ 渡良瀬川遊水地
- 5 水草たい肥の配布について
滋賀県地球温暖化防止活動推進員リレートーク 中野 他家子さん
- 6 お知らせ イベント情報

作品講評：

成安造形大学
共通教育センター／地域実践領域
石川亮 准教授



審査会ではクールチョイス（日頃の小さな選択が未来を大きく変えていく。）の考え方を自分なりに理解して、積極的にポスター制作に取り組んでいる作品を評価していく方向になりました。多くのポスター作品の、制作に取り組んだ生徒、児童のみならず、指導に当たった先生方や生活を共にする保護者の方々、支え合い、関係する方々の丁寧な指導や一緒に自身の問題としていこうとする意識のあらわれだと感じています。

特別賞



京セラ賞
こばやし せいな
小林 世奈さん
近江八幡市立桐原東小学校3年
次どうするのか？
どうなっていくのか？を
みんなに問いかける作品です。



滋賀県地球温暖化防止
活動推進センター長賞
なかじま ゆりか
中島 優里花さん
滋賀大学教育学部附属小学校6年
日々の暮らしの一つ一つが未来を
大きく変えるかもしれない。

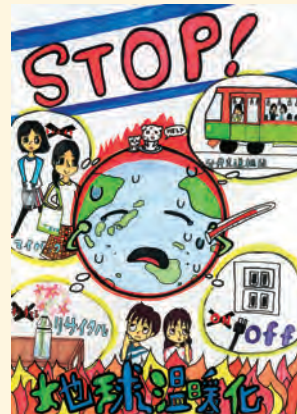


東京センチュリー賞
いば あかね
伊庭 朱音さん
近江高等学校2年
細部にわたって丁寧に表現され、
デザイン性も豊かです。

優秀賞



おかべ うた
岡部 詩さん
大津市立膳所小学校1年
ぬく！わかりやすいですね！
率直で素直な表現は見る人を
面白くさせると思います。



はやし みゆ
林 心結さん
大津市立膳所小学校6年
ポスターとしてのインパクト
や伝達する意図が伝わります。



のむら みき
野村 未来さん
滋賀県立水口東中学校1年
淡い色彩で構成しつつもCOOL CHOICE
とはっきり描かれ、間接的にメッセージを
届ける優れた表現です。



つじ けんた
辻 絢太さん
甲賀市立甲賀中学校2年
キャッチコピーが素晴らしい
です。ゴミが利活用できる可
能性を示唆しています。



なかむら たろう
中村 太郎さん
近江八幡市立八幡西中学校2年
個人と社会の循環を描き、問
題を共有し、クリアしていく
ことを促しています。



そのだ はるな
蘭田 遥菜さん
近江高等学校2年
ポスターデザインとして、見
る人へ強く訴えかける力を感
じます。



なかがわ みづき
中川 瑞月さん
近江高等学校2年
クールな印象を与え、頑張るの
でなく、普通であることを伝
えています。



やまもと ゆい
山元 優依さん
滋賀県立栗東高校2年
我々自身が詰め込み過ぎの社
会にしていらないだろうか？と
考えさせられます。

自然と人との共生をめざして

その人に 聞く

滋賀県少年野球交流協会

会長 山本 和良 さん

— いつもボランティアに参加いただきありがとうございます。少年野球のみなさんが参加されて10年になりますね。

山本会長 安土で開催された伊藤園さんのヨシ刈りにまず一人で行き、最初は自分のチームでと思ったけれど、いや、これは他のチームと一緒にいくべきやと。硬式と軟式の複数のクラブチームが集まって、年に1回、びわ湖の生態系を守るヨシ刈りに、県の交流協会として参加することにしました。「野洲キッド」という小学生

のチームはヨシ植えに参加しています。他にも、「漁民の森」の活動や、「緑の少年団」の募金活動などもさせてもらっています。



— 今日もそうですが、ヨシ刈りの時も、チームの皆さん、礼儀正しく挨拶をされていました。野球を通して身体も心も鍛える、すばらしい人格形成の場ですね。

山本会長 そう願っています。学校と、家庭と、地域の教育があって、ここでは他で学べないことをしてもらいたい。特に、環境は一生ついて回るものですから、まずは現地に足を運んで意識し、体験することだと思います。小さい頃に体験したことは大きくなっても思い出すし、その場所を訪れたり、ヨシを見たりした時に、ああヨシ刈りをしたな、びわ湖の環境のことを考えて作業したな、と思いつくことが、財産になると思います。

— JRの駅長をされていたと伺いました。少年野球とヨシと環境、どうつながったのですか？

山本会長 当時の職場は大津駅でした。地球環境保護に熱心に取り組む会社ですので、職場の皆でもやろうと話がまとまり、参加するようになりました。その後財団の職員さんと知り合い、草津でできることになり、朝から野球チームで、昼からJRで、ヨシ刈りをするようになりました。私の退職後も、近江塩津から南草津間の社員さんで継続しています。

毎年12月の土曜日。午前中は野球少年たちが、午後からはJR西日本の社員の皆さんが、びわ湖畔に集まり、ヨシ群落保全のボランティア活動を続けられています。滋賀県内で活動する中学生の野球交流協会の代表として、また、JRの社員からOBへと立場をかえられてからも、関わる皆さんをけん引されている山本会長。「野洲ブレーブス」のホームグラウンドを訪ねてみると、美しく並べられた水筒や野球道具がとても印象的でした。

健全な若者の育成に長年携わり、「みんなに素晴らしい青年になって欲しい、幸せになって欲しい」と力強く笑顔で語る会長にお話を伺いました。

— そこまで会長が周りの皆さんを巻き込んで、環境への行動を起こされる、その原動力は何ですか。

山本会長 1997年の京都議定書です。地球温暖化防止に取り組まないといけないと痛感しました。最近自然災害も被害が拡大しているし、16歳のグレタさんを見たら、やっぱりこういう子が出てくるよなって。私にできることは、今のうちに子ども達に意識してもらおう場を提供することで、徐々に全体の意識が変わって欲しいです。ボディブローのように効いてくるんやろね、あとあと。

— 地球温暖化は、これからの10年が人類の未来を決めると言っても過言ではない状況にありますが、なかなか自分ごととしてとらえにくいですね。

山本会長 意識行動につながる事柄を、ぜひ教えてください。地球温暖化と言いつつも地元からですよ。あの美味しいアユが取れなくなってきたと聞くと、びわ湖はそんなことになってるんやと、がく然とします。



— 地球環境に対する意識の高い鉄道マンの意志が、次の世代へ受け継がれていく現場を見せていただきました。これからも滋賀のため、子どもたちのために、会長と一緒に、幅広く取り組めればと思います。



滋賀県少年野球交流協会・山本会長

日本 ヨシ紀行

ヨシの風景を訪ねて

第4回 わたらせゆうすいち 渡良瀬遊水地 (茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県)



ぼくは、コウノトリの「ひかる」。
平成28年に、生まれ育った千葉県野田市から渡良瀬遊水地に引越してきたんだ。今は遊水地の周りの様々な生き物と一緒に暮らしているんだよ。

まず、この渡良瀬遊水地の紹介をするよ。関東平野を流れる渡良瀬川は、いくつかの川と合流して利根川に流れ込むんだけど、昔から洪水がよく起こるところだったんだって。それで、利根川に流れる水の量を調節するために渡良瀬遊水地ができたんだ。茨城・群馬・栃木・埼玉の4県にまたがる、本州最大のヨシ原なんだぜ。

遊水地全体の面積約3,300haのうち、ヨシ原の面積は約半分もあって、植物、昆虫、野鳥などの宝庫。平成24年7月にラムサール条約の登録湿地となったんだ。



渡良瀬遊水地のヨシ原

ここに、ぼくの仲間の鳥類は約260種、昆虫類は約1,700種も暮らしている。植物は約1,000種類も見られるし、特に、希少な品種が豊富なんだよ。



でも、ここに来て最初に「ヨシ焼き」に遭遇した時は本当にびっくりした。とんでもなく大きな火に、多くの鳥たちと一緒に逃げたんだ。でもこれは、ヨシ原を守るための一時的

なことなんだ。ここでは立ち枯れのヨシを焼く「ヨシ焼き」を毎年3月中旬頃行っていて、これには良質なヨシを維持したり、雑木の成長を止めた



渡良瀬遊水地のヨシ焼き

り、自然発火による延焼を防ぐ目的もあるんだ。ぼくも今はすっかり慣れて、ヨシ焼きを巣塔の上から見守ってるよ。



巣塔にたたずむ「ひかる」と富士山

遊水地には令和元年から、「レイ」と「カズ」という仲間も増えている。これから、もっと賑やかになるといいなと思ってるんだ。

取材・写真協力 NPOわたらせ未来基金

水草たい肥の配布について ～滋賀県と当財団の取り組み～

滋賀県と財団では、毎年、琵琶湖の南湖を中心に異常繁茂する水草の刈り取り事業を実施しており、刈り取った水草をかつてのように農地で有効利用するため、たい肥化などの試験研究を行いながら、資源としての有効活用に取り組んできました。

その取り組みの一環として、たい肥で植物を育てていただくモニターを募集しています。

◇水草たい肥モニターとは◇

水草たい肥を使用して野菜などを栽培していただき、使用状況や感想等をアンケート様式で回答していただきます。

※モニター登録をされた方には、配布日等のご案内をします。ぜひご登録ください

○水草たい肥は、肥料分は多く含んでいませんが、弱アルカリ性（pH7.0～8.0程度）で土づくりを行うための土壌改良材としての効果が期待されます。

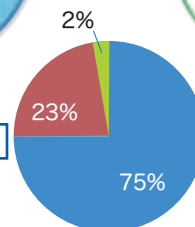
水草たい肥成分 令和元年10月分析結果

全カリウム K ₂ O w/w%	全りん酸 P ₂ O ₅ w/w%	炭素率 (C/N比)	全窒素 w/w%	水含有率(含水率) w/w%
0.40	0.42	9.00	0.31	26.3

○お渡しするたい肥は、1年以上発酵させたものになります。



たい肥の利用



■ぜひ利用したい
■機会があれば利用したい
平成30年度水草たい肥についてのモニター報告書より(モニター数 443)

◇水草たい肥の配布について◇

水草たい肥モニター登録者（配布当日の登録も可）への、本年度の水草たい肥の配布を、県下6ヶ所で実施します。

※お一人当たりの配布量は、軽トラック1台分程度、袋詰めの場合は10袋程度（袋はご持参ください）、とさせていただきます。

※各日、たい肥がなくなり次第終了します。

配布場所一覧

- ① 2月29日(土) 10:00～14:00 高島市 今津町今津 (JR 近江今津駅 南側)
- ② 3月 1日(日) 10:00～14:00 近江八幡市 津田町 (近江八幡運動公園 南側)
- ③ 3月 7日(土) 10:00～14:00 大津市 浜大津(大津港 南側)
- ④ 3月 8日(日) 10:00～14:00 守山市 今浜町(びわこ地球市民の森 つどいのゾーン駐車場)
- ⑤ 3月14日(土) 10:00～14:00 彦根市 松原町 (彦根港 北側)
- ⑥ 3月15日(日) 10:00～14:00 長浜市 高月町高月 (高月中学校跡地)



滋賀県地球温暖化防止活動推進員は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、滋賀県知事より委嘱され、普及啓発活動を推進されています。

今回は、広いエリアで出前講座やイベント啓発の推進員活動をされながら、押し花やフラダンスなど、様々な分野で明るく華やかに活躍されているこの方です！

主宰する押し花教室などで、日野町を中心として近隣の地域の方々と触れ合う機会を持たせていただきました。美しい花々が育つこの自然と地域を守っていくために、自分のできることはないかと考え、地球温暖化防止活動推進員として活動させていただいています。

学童保育の子どもたちにゲームなどを通して楽しく学んでもらったり、地域のお年寄りにふるしきを持ってきてもらって活用方法をお伝えしたりと、身近にできる地球温暖化防止行動を推進しています。この活動は、温暖化防止につながるだけでなく、地域の絆づくりに

も役立っており、私自身も楽しんで活動させていただいています。

私たち一人ひとりは、そんなに大きなことはできませんが、子どもたちの未来のために、少しでもお役に立てればと考えています。



「暮らしと防災に役立つふるしき活用講座」での中野さん

滋賀県地球温暖化防止活動推進員リレートーク

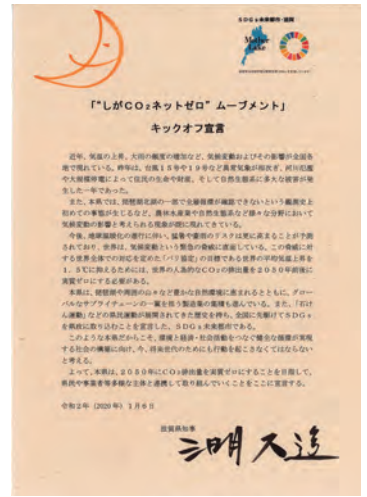


中野 他家子さん
日野町在住

「しがCO₂ネットゼロ」ムーブメント」キックオフ宣言について

このたび、環境先進県を標榜し、SDGs 未来都市として持続可能な滋賀の実現に取り組んでいる滋賀県においても、国内外の動きと協調し、**2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロ**をすることを旨とし、県民、事業者等多様な主体と連携して取り組む「しがCO₂ネットゼロ」ムーブメント」キックオフ宣言をしました。

県民や事業者等、様々な主体のみならずには、取組の趣旨に賛同いただき、琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境を守り、豪雨災害等に強い持続可能な社会を次世代に引き継ぐため、一緒に取り組んでいきましょう。



イベント情報 2020年3月～6月 詳細はお問い合わせください。

イベント名	開催日	時間	場所	内容
水草たい肥配布	2月29日(土) ～3月15日(日) (6日設定)	10:00 ～14:00	高島市 今津町今津 ほか全6か所	琵琶湖で大量発生する水草をたい肥にして、登録モニターの皆さんに無料配布します。(P.5参照)
ラムサールびわっこ大使報告会 <small>新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期</small>	3月1日(日)	11:00 ～12:00	フェリエ南草津	活動の締めくくりとして、この一年間で経験したり、学んだりしたことを発表し、7月の学習会で漬けた鮎ずしを開封し、試食します。
持続可能なエネルギーとまちづくりセミナー2 <small>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</small>	3月8日(日)	13:30 ～16:40	フューチャー・ラボ (守山市吉身二丁目)	東京大学 名誉教授の山本良一先生を招き、世界の気候変動対策と我が国の状況についてお話いただき、自らのなすべきことについてディスカッションします。
しが水環境ビジネスセミナー <small>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</small>	3月12日(木)	14:00 ～17:15	コラボしが 21	しが水環境ビジネスフォーラム会員や企業等を対象に、報告と情報提供、意見交換を行います。
グリーン購入+エシカル・シンポジウム 「未来のために知っておきたい、今日からできるエシカル消費」 <small>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</small>	3月20日 (金・祝)	13:30 ～16:00	ピアザ淡海	エシカル協会 代表の末吉里花さんの講演、報告とディスカッションから、環境・社会問題と私たちの消費行動とのつながりについて考えます。
第11期滋賀県地球温暖化防止活動推進員委嘱式	4月4日(土)	PM	滋賀県庁	地域での地球温暖化防止の取り組みを進める推進員に、委嘱状が交付されます。
スプリングフェスタ in 矢橋帰帆島	5月23日(土)	9:00 ～16:00	矢橋帰帆島	毎年多くの人でにぎわうイベントに、温暖化防止センターブースを出展します。
グリーン購入シンポジウム	6月2日(火)	PM	ピアザ淡海	大阪商業大学の原田禎夫准教授からプラスチック問題の現状、日本環境設計の岩元美智彦会長からそのリサイクル技術について講演いただきます。

公益財団法人 淡海環境保全財団 「明日の淡海」

発行 公益財団法人 淡海環境保全財団

VOL.30 2020年3月発行 (年4回発行)

〒525-0066 滋賀県草津市矢橋町2108番地
TEL:077-569-5301 FAX:077-569-5304 E-mail:info@ohmi.or.jp

【滋賀県地球温暖化防止活動推進センター】
TEL:077-569-5301 FAX:077-569-5304 E-mail:ondanka@ohmi.or.jp

【淡海環境プラザ】
TEL:077-569-5306 FAX:077-569-5334 E-mail:plaza@ohmi.or.jp



編集後記

リニューアルして今号で四季がひとめぐりします。この1年、財団情報とあわせて、県内のすばらしい風景をお届けしたいと、自分の行動範囲も少し広がりました。ご感想や、良い撮影スポットなどお寄せいただくと嬉しいです。



- 用紙:適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷